



## アジア太平洋地域が直面する大規模な職不足 ILO地域会議で生産的な雇用の創出、 ディーセント・ワーク、貧困削減に向けた新たな戦略について討議

【釜山(韓国)発 ILO ニュース】アジア太平洋における貿易、投資、生産高の強い成長も、今後10年間の新規求職者数が2億5,000万人に達すると推計される域内労働力の伸びに歩調を合わせ、上昇する失業率に対処することはできなかったと、国際労働機関(ILO)の新しい報告書は記す。

8月29日～9月1日に釜山で開催されるILOの第14回アジア地域会議に向けて作成された英文報告書「Realizing decent work in Asia (アジアにおけるディーセント・ワークの実現)\*1」は、この地域は経済的に相当の進歩を遂げ、今では「グローバル経済における首位」を占めているとする。

しかしながら、域内の多くの国で貧困削減に向けた大きな進展が見られたにもかかわらず、1日1人当たり2ドルの貧困線を下回る暮らしを送る「働く貧困層」は10億人を超え、うち3億3,000万人以上が1日1ドル未満の極端な貧困状態で暮らしている。その上、域内の多くで失業率は5～7年前の水準を上回っている。

「成長と雇用創出の間に見られる格差は、まともで人間的な仕事を意味するディーセント・ワークの不足をもたらし、貧困緩和に向けた努力にブレーキをかけている。雇用上の課題は膨大で、働く男女が19億人近いアジアの労働力はすでに巨大であるのに加え、今後10年間に少なくとも14%増の2億5,000万人増加すると予測される」とファン・ソマビア ILO 事務局長は語る。

域内40カ国のILO加盟国の政府、使用者、労働者の代表は、グローバル化における競争力、生産性、まともな職、若者のまともな職、労働力移動の管理、アジアでディーセント・ワークを実現するための労働市場のガバナンス(統治)、社会的保護のインフォーマル経済への拡大といった多様な課題について論議する。全体を貫くテーマとして、基準、働く上での基本的な原則と権利、男女平等、社会対話といった事項が取り上げられる。

職不足の最も懸念される側面は、たぶんそれが若者に与える影響であろう。2005年に世界全体の無職の若者の48%以上に相当する4,160万人がアジアに暮らしていた。若者が失業する危険性は、より年長の人々の少なくとも3倍になる。

### アジア太平洋の経済と労働市場

ILOが把握しているディーセント・ワーク上の課題にはほかに次のようなものがある。  
**生産性の伸びに遅れる賃金の伸び**：中国では、1990～99年の期間に製造業の労働生産性は170%上昇したが、実質賃金の伸びは80%をわずかに下回った。パキスタンとインドでは製造業の実質賃金は1990年以降低下している(パキスタン8.5%減、インド22%減)。インドでは同時期に製造業の労働生産性が84%を超える伸びを記録したにもかかわらず、賃金の低下が起こっており、これは労働者の労働効率が上昇したにもかかわらず、暮らしが悪化したことを意味する。

**長い労働時間**：生産性の大きな伸びも労働時間のめざましい短縮にはつながっていない。

\*1 *Realizing decent work in Asia, Report of the Director-General, 14th Asian Regional Meeting, Busan, Korea, August-September 2006*, ISBN: 978-92-2-118770-7。次のウェブサイトからダウンロード可  
<http://www.ilo.org/public/english/standards/relm/rgmeet/14asrm/dgrealizing/pdf>  
この公式の報告書を補足するものとして、地域の雇用・社会状況に関するデータと詳細な分析を提示する背景資料 (*Labour and social trends in Asia and the Pacific 2006, Progress towards decent work*, Regional Office for Asia and the Pacific, ISBN: 92-2-119039-0) も発表されている。

press releases

世界の年間労働時間上位 6 カ国・地域は全てアジア（バングラデシュ、香港、マレーシア、韓国、スリランカ、タイ）に位置し、かなりの割合の人々が週 50 時間以上働いている。

**両性間の不平等**：過去 15 年間に進展が見られたにもかかわらず、格差は依然として存在する。シンガポールでは製造業における女性労働者の平均賃金が男性のわずか 61% である。一方、日本、マレーシア、韓国といった一部の国では製造業における男女賃金格差が近年縮小してきている。

**労働者の流動性の高まり**：近年、毎年 260 万～290 万人のアジアの労働者が外国で働くために自国を後にしている。移民の 5 割以上が南アジア（インド、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ）の出身で、残りは主としてインドネシアとフィリピンの出身である。過去からの変化として、現在、アジアが吸収する移民の割合はますます高くなってきており、世界全体の 4 割に達すると推計される。

**児童労働の不均衡な減少**：2000～04 年の間にアジア太平洋では 5～14 歳の児童労働者数が 500 万人減少したが、この地域には依然として世界全体の約 64% に相当する 1 億 2,230 万人の働く児童が存在する。

**労働者の安全衛生**：毎年、業務関連の事故及び疾病で約 100 万人のアジアの労働者が命を落とす。健康面の最も深刻な懸念事項には HIV（エイズウイルス）/ エイズが含まれる。HIV 感染者・エイズ患者の約 97% が 15～49 歳の、労働者として最も生産的な年齢集団に属している事実は、この疾病が生産労働力に深刻な影響を与えることを意味する。

**働く上での権利**：多くの国が、働く上での基本的な原則と権利（とりわけ、働く上での差別、児童労働、強制労働）に沿って、国内法を強化しているものの、一部の国で見られる最近の出来事は結社の自由に対する深刻な脅威を反映している。

**代表性不足の拡大**：労働力に占める組合員の比率は、下はバングラデシュ、タイ、マレーシア、韓国といった国の 3～8% から、上はニュージーランド、オーストラリア、シンガポールの 16～19% の範囲に収まる。組織率はインフォーマル・セクターや農業部門が大きい国で最も低い。域内のほとんどの国で低下してきている。使用者団体もまた、しばしば国内の連合体に加盟していない多国籍企業の存在の拡大と企業の多様性の増加を含む様々な課題を経験しつつある。

こういった不足に直面する中で、報告書は、全ての人々にまともで、人間的な仕事を確保するという ILO の「ディーセント・ワーク課題」に対する支持が広まってきたことを記し、前回の ILO アジア地域会議以降に見られたグローバル化の力の管理、とりわけディーセント・ワーク国内行動計画を通じて達成された進歩を紹介する。

ソマビア ILO 事務局長は次のように語る。「この激動と急速な変化の時代において、世界はグローバル化と競争の熾烈化、そして技術進歩によってもたらされた機会を捉え、課題に取り組む方法に関する良い慣行と事例をアジアに求めている。ディーセント・ワークが地球規模の目標として支持された今や、課題はそれを現実のものとするのであり、アジアはその動きを率いていく潜在力を秘めている。ディーセント・ワーク手法が幅広く支持されたのは、通常のやり方を続けていては、人々が必要とするだけの数量の職を提供することも、根深い不均衡を是正し、人々を貧困から引き上げることのできる良質の職を提供することもできないことが認識された結果である。」

\* \* \* \* \*

第 14 回 ILO アジア地域会議の詳しい情報はインターネット（<http://www.ilo.org/asia>）で入手できます（英文）。お問い合わせは、現地 ILO コミュニケーション・チーム（全て英語でお願いします。Sophy Fisher (E-mail: [fisher@ilo.org](mailto:fisher@ilo.org), TEL: +82-10-865-98535) Thomas Netter (E-mail: [netter@ilo.org](mailto:netter@ilo.org), TEL: +82-10-865-95657)、Karen Naets-Sekiguchi (E-mail: [naets-sekiguchi@ilo.org](mailto:naets-sekiguchi@ilo.org), TEL: +82-10-865-95320) ) または ILO 駐日事務所（E-mail: [ilo-tokyo@ilotokyo.jp](mailto:ilo-tokyo@ilotokyo.jp), TEL: 03-5467-2701, FAX: 03-5467-2700）まで。

ILO はアジア、アフリカ、欧州、米州の地域毎に、域内 ILO 加盟国が仕事の世界で

直面している課題と問題に取り組み、ILOの活動を見直すための話し合いを行う地域会議を原則1年に一つずつ順番に開催しています。本地域会議には、過去5年間のアジア太平洋におけるILOの活動に関する報告書も提出されています。ILOは三者構成の機関であり、会議にはそれぞれが投票権を持つ政府、使用者、労働者の代表が出席します。